



2026年4月1日

株主の皆様、社員の皆様、そして関係者の皆様へ

## 新たな冒険への出発

2026年3月期はDLEにとって歴史的な年となりました。大胆なスクラップ&ビルドを実行し、すべての負の遺産とお別れをしたとともに、新たな事業の柱となるべくAIスタジオを立ち上げ、月にショート動画1000本を供給できる体制を構築いたしました。このスタジオメンバーは、単にPCが使えるAI動画制作だけができるのではなく、様々な経歴を有し、企画から演出まで行えるクリエイティブ集団です。これこそがDLEのAIスタジオの最大の強みであります。そして、このスタジオは8月に立ち上げましたが、10月のクールでは、おそらく日本初であろうテレビ地上波レギュラー放送を行うという快挙を達成いたしました。

また、もう一つ、DLEといえばFLASHアニメをイメージされる方も多いと思いますが、FLASHアニメを進化させ、FLASHと手描きを融合したオリジナルメソッドに基づいて動画制作を行ったオルタナティブアニメを発表いたしました。その第一弾である「野原ひろし 昼メシの流儀」は、2025年アニメアワードを総なめにするなど、大きな関心を集めました。オルタナティブアニメは、中品質、早期制作を強みとしており、現状の困窮するアニメ制作業界の救世主になると強く期待されております。

このような中で、当社に対する業界内の関心が強まり、多くの引き合いをいただくに至り、業界特有の情報解禁日等の関係から、なかなか公表できておりませんが、この作品をDLEが作るのと多くの方が驚くであろう作品も内定\*しております。そして、3月末時点において、この内定は10億円を大きく上回っており、過去最高となっております。

来る2027年3月期は、赤字続きであった苦難の時代から抜け出し、DLEは新たな冒険をスタートいたします。今までの苦しい時代も支援を続けてくださいました多くの株主様、明日を信じ頑張ってくれた社員の皆様、そして多くの関係者の皆様に感謝を述べさせて頂くとともに、新たなDLEへの引き続きの支援を宜しくお願い致します。

支援してきてよかったと笑顔で皆様に言って頂けるよう頑張ります。

2026年4月1日

株式会社ディー・エル・イー

代表取締役社長 小野 亮

\*業界慣習で契約が放送直前となることもあり、内定という表現を用いています。